北竜町

まち・ひと・しごと創生総合戦略

改訂案

令和2年3月4日

令和2年3月　改訂

北竜町

目　　　　次

[第１章　基本的な考え方 3](#_Toc33710653)

[１．目的・背景 3](#_Toc33710654)

[２．国の総合戦略の概要 3](#_Toc33710655)

[（１）人口減少と地域経済縮小の克服 3](#_Toc33710656)

[（２）まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立 3](#_Toc33710657)

[（３）まち・ひと・しごとの創生に向けた政策５原則 4](#_Toc33710658)

[（４）国と地方の取組体制とPDCAの整備 4](#_Toc33710659)

[（５）政策の基本目標・横断的な目標 5](#_Toc33710660)

[３．北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ 5](#_Toc33710661)

[（１）北竜町人口ビジョンとの関係 5](#_Toc33710662)

[（２）北竜町総合計画との関係 6](#_Toc33710663)

[（３）国・北海道の総合戦略との関係 6](#_Toc33710664)

[４．計画策定体制 7](#_Toc33710665)

[５．計画の期間 8](#_Toc33710666)

[６．目標設定と進捗管理 8](#_Toc33710667)

[第２章　北竜町の現状 9](#_Toc33710668)

[１．自然動態の課題 9](#_Toc33710669)

[（１）自然動態の状況 9](#_Toc33710670)

[（２）結婚の課題 9](#_Toc33710671)

[（３）出産・育児の課題 9](#_Toc33710672)

[２．社会動態の課題 10](#_Toc33710673)

[（１）社会動態の状況 10](#_Toc33710674)

[（２）移住・定住対策における課題 10](#_Toc33710675)

[（３）雇用における課題 10](#_Toc33710676)

[３．人口減少対策の方向性 11](#_Toc33710677)

[第３章　基本目標・横断的な目標と施策の体系 12](#_Toc33710678)

[１．基本目標・横断的な目標 12](#_Toc33710679)

[基本目標１　魅力ある北竜町をつくるとともに、安定した雇用を創出する 12](#_Toc33710680)

[基本目標２　北竜町とのつながりを築き、北竜町への新しいひとの流れをつくる 12](#_Toc33710681)

[基本目標３　結婚・出産・子育ての希望をかなえる 12](#_Toc33710682)

[基本目標４　ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる 12](#_Toc33710683)

[横断的な目標１　多様な人材の活躍を推進する 12](#_Toc33710684)

[横断的な目標２　新しい時代の流れを力にする 12](#_Toc33710685)

[２．施策の体系 13](#_Toc33710686)

[第４章　具体的な施策 14](#_Toc33710687)

[基本目標１　魅力ある北竜町をつくるとともに、安定した雇用を創出する 14](#_Toc33710688)

[（１）農業の成長産業化 14](#_Toc33710689)

[（２）農業の六次産業化 15](#_Toc33710690)

[（３）観光の競争力強化 15](#_Toc33710691)

[（４）地元企業の支援 16](#_Toc33710692)

[基本目標２　北竜町とのつながりを築き、北竜町への新しいひとの流れをつくる 17](#_Toc33710693)

[（１）移住・定住の推進 17](#_Toc33710694)

[（２）観光の振興・地域ブランド化 18](#_Toc33710695)

[基本目標３　結婚・出産・子育ての希望をかなえる 19](#_Toc33710696)

[（１）若い世代の収入の安定 19](#_Toc33710697)

[（２）結婚・出産を継続支援 20](#_Toc33710698)

[（３）子育て支援の充実 21](#_Toc33710699)

[基本目標４　ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる 22](#_Toc33710700)

[（１）時代に合った地域づくり 22](#_Toc33710701)

[（２）安心なくらしを守る 23](#_Toc33710702)

[（３）公共施設・インフラ等の維持・整備 24](#_Toc33710703)

[（４）地域と地域の連携 24](#_Toc33710704)

#

# 第１章　基本的な考え方

## １．目的・背景

国では、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への過度の人口集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、まち・ひと・しごと創生法を制定しました。

北竜町においても、少子高齢化の進展とともに生産年齢人口は減少傾向にあり、労働力の減少や地域活力の低下、社会保障費の増加など様々な面での影響が懸念されています。これら人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組むため、まち・ひと・しごと創生法第10条第1項の規定に基づき、国及び北海道が策定するまち・ひと・しごと創生総合戦略を勘案しながら、北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定します。

## ２．国の総合戦略の概要

### （１）人口減少と地域経済縮小の克服

地方は人口減少を契機に、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥るリスクが高い。

人口減少克服・地方創生のためには、3つの基本的視点から取り組むことが重要。

①「東京一極集中」の是正

②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現

③地域の特性に即した地域課題の解決

### （２）まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

#### ①しごとの創生

若い世代が安心して働ける「相応の賃金、安定した雇用形態、やりがいのあるしごと」という「雇用の質」を重視した取組が重要。

#### ②ひとの創生

地域や地域の人々に多様な形で関わる「関係人口」を地域の力にしていくことを目指し、地方とのつながりの強化に向けて、地域に目を向け地域とつながる人や企業を増大させるとともに、地方への移住・定住を促進する。

#### ③まちの創生

地方で安心して暮らせるよう、中山間地域等、地方都市、大都市圏等の各地域の特性に即して課題を解決する。

### （３）まち・ひと・しごとの創生に向けた政策５原則

#### ①自立性

構造的な問題に対処し、地方公共団体、民間事業者、個人等の自立につながる。

#### ②将来性

地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する。

#### ③地域性

各地域の実態に合った施策を支援。国は支援の受け手側の視点に立って支援。

#### ④直接性

最大限の成果をあげるため、直接的に支援する施策を集中的に実施する。

#### ⑤結果重視

PDCAサイクルの下、具体的な数値目標を設定し、効果検証と改善を実施する**。**

### （４）国と地方の取組体制とPDCAの整備

#### ①５か年計画の策定と検証と改善

国と地方公共団体ともに、５か年の戦略を策定・実行する体制を整え、アウトカム指標を原則とした重要業績評価指標（KPI）を設け、計画・実行・評価・改善というPDCAサイクルを確立**。**

#### ②データに基づく、地域ごとの特性と地域課題の抽出

国はデータに基づく地域経済分析システムを整備し、各地方公共団体は必要なデータ分析を行い、地域課題等を踏まえた「地方版総合戦略」を策定**。**

#### ③国のワンストップ型の支援体制等と施策のメニュー化

国は関係府省庁で統一のワンストップ型執行体制の整備に努め、各地域が必要な施策を選択できるよう支援施策をメニュー化し、人的支援も実施**。**

#### ④地域間の連携推進

国は新たな「連携中枢都市圏」や定住自立圏の形成を進め、各地方公共団体は、地域間の広域連携を積極的に推進**。**

### （５）政策の基本目標・横断的な目標

#### 基本目標１　稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする

#### 基本目標２　地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

#### 基本目標３　結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### 基本目標４　ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

**横断的な目標１　多様な人材の活躍を推進する**

**横断的な目標２　新しい時代の流れを力にする**

## ３．北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ

### （１）北竜町人口ビジョンとの関係

北竜町の人口ビジョンで示した「総人口の推計結果（北竜町独自仮定による推計）」を基に、「総人口の将来展望（目標人口）」を実現ために実施する施策・事業を、数値目標とともに示すのが北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略です。



北竜町まち・ひと・しごと創生

総合戦略

北竜町人口ビジョン

総人口の将来展望

（めざす姿）

「北竜町人口ビジョン」における人口現状分析によって明らかになった人口構造や人口減少の要因を基に、将来の展望（めざす姿）を実現するために必要な施策・事業を体系的に整理し、数値目標とともに示すのが「北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略」

北竜町将来人口の

推計結果

### （２）北竜町総合計画との関係

北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、あかるい農法ひまわりの北竜町（北竜町総合計画）に示されているまちづくりのテーマや基本目標を基に、人口減少問題対策に特化した施策・事業を数値目標とともに示す計画です。

住民の意識や意向、各種団体などの意見や庁内各課における施策・事業の評価を基に新規事業を立案し、北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に盛り込むとともに、あかるい農法ひまわりの北竜町に反映します。

北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略

北竜町総合計画のテーマや基本目標を基に、人口減少問題対策を行うための施策・事業を数値目標とともに示す計画。

まちづくりの指針に整合

新規事業を実施計画に反映

あかるい農法ひまわりの北竜町

（北竜町総合計画）

北竜町の将来像やまちづくりの目標を明確にし、その目標の実現に向かって行動するための活動指針。町のすべての計画の基本となる最上位計画。

人口減少問題対策に特化した施策・事業

北竜町人口ビジョン

まちづくりのテーマ

基本目標

基本構想に実現に

向けた各種施策

基本計画の実現に

向けた具体的事業

基本構想

基本計画

実施計画

北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略

人口減少対策のための新規事業

### （３）国・北海道の総合戦略との関係

北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、国の総合戦略で示されている基本方針や今後の施策の方向を勘案し策定します。また、道が策定する総合戦略である「北海道創生総合戦略」を勘案して策定するとともに、北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略における施策・事業の実施においては「北海道創生総合戦略」で示される施策・事業と連携を図ります。

勘案して

策定

北海道創生総合戦略

○北海道創生重点戦略

○基本戦略

○効果的な進捗管理

国の総合戦略

○基本的な考え方

○政策の企画・実行に当たっての基本方針

○今後の施策の方向

勘案・連携

北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略

勘案して策定

## ４．計画策定体制

#### （１）北竜町地方創生協議会（庁外体制）

北竜町地方創生総合戦略の策定及び推進にあたり、町民、産業団体、教育機関、金融機関、メディア等（産官学金労言）の関係者の意見を反映するため、北竜町地方創生協議会を設置します。

#### （２）北竜町地方創生策定委員会（庁内体制）

まち・ひと・しごと創生法第10条第１項に規定する市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定及び推進にあたり、全庁的に取り組むため、町長を委員長とする北竜町地方創生策定委員会を設置します。

北竜町地方創生策定委員会は各課課長・関係機関等をメンバーとし、北竜町人口ビジョン素案、北竜町地方創生総合戦略素案の作成に関する協議を行います。

#### （３）北竜町地方創生総合戦略検討委員会

北竜町地方創生総合戦略における新規事業の企画・検討にあたり、関係機関・町民の意見を反映するため、北竜町地方創生総合戦略検討委員会を設置します。

主にワークショップを通じて、町の課題の洗い出しと整理、新規事業の企画・検討及び具体化を行います。

#### （４）議会

総合戦略の策定にあたっては、議会と執行機関が車の両輪となって推進していくことが重要であることから、総合戦略の策定や効果検証の段階ごとに、まちづくり等調査特別委員会の場において十分な審議が行われるようにします。

議　　会

《計画策定体制イメージ図》

意見・提案

報告

意見・提案

北竜町地方創生策定委員会

（町長・副町長・教育長・各課長）

庁内各課

意見・提案

町民意識調査

ワークショップ

意見

報告

町民・地域団体等

北竜町地方創生協議会

（産官学金労言等）

北竜町地方創生検討委員会

（きたそらち農業協同組合女性部・青年部・フレッシュミズ、北竜町商工会女性部・青年部、北竜町役場職員等）

北竜町

## ５．計画の期間

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 |
| あかるい農法ひまわりの北竜町（北竜町総合計画） | 基本構想 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | 前期基本計画 |  |  | 後期基本計画 |  |  |  |  |  |  |
| 毎年度見直しローリング | 前期実施計画 |  |  |  |  | 後期実施計画 | 毎年度見直しローリング |  |  |  |  |
| 北竜町過疎地域自立促進計画 | 第10期 |  |  | 第11期 |  |  | 第1２期 |  |  |  |  |  |
| 北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 |  |  |  |  | 北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 |  |  |  |  |  |  |  |

北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間は、令和2年度から令和6年度までの５年間とします。

## ６．目標設定と進捗管理

本計画では、北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に盛り込む政策分野ごとに基本目標と数値目標を設定するとともに、具体的な施策に重要業績評価指標（KPI）を設定します。

また、計画・実行・評価・改善というPDCAサイクルを確立し、効果的な戦略を策定し着実に実施するとともに、定期的に実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略を改善することとします。

《PDCAサイクルのイメージ》

**PLAN（計画）**

北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略

**ACTION（見直し・改善）**

必要に応じて、北竜町まち・ひと・

しごと創生総合戦略を改善

**CHECK（評価）**

施策・事業の進捗状況の把握・評価

**DO（実行）**

施策・事業の実施

第２章　北竜町の現状

## １．自然動態の課題

### （１）自然動態の状況

本町における出生数は、平成27～令和元年の５年間で平均10.4人／年となっていますが、死亡数は平均23.4人／年で、平均すると毎年13.0人の自然減となっています。

今後とも死亡数は年20人／年と考えられ、生産年齢人口における女性人口は減少することが予想され、出生数は年10人／年と考えられるため、このままでは出生数の増加は見込めない状況にあります。

### （２）結婚の課題

平成30年における未婚率は、男女ともに、20～29歳は全国・北海道と同等もしくは高くなっています。30歳以上は、女性は未婚率は低くなりますが、男性は未婚率が高い状況です。

また、将来結婚するつもりのない人は約10%にとどまっているものの、将来の結婚について「わからない」としている人が約30%存在しています。

価値観が多様化している現在では、結婚に対する考え方は人によって異なると考えられますが、未婚の理由として上位に挙げられている「結婚したいと思える相手との出会いがない」ことや「家族を養うほどの収入がない」といった課題の改善によって未婚率は改善の方向に向かうと考えられます。

### （３）出産・育児の課題

町内における「理想とする子どもの数」は2.44人で合計特殊出生率（１人の女性が一生の間に産む子どもの平均数）の1.24を大きく上回っている状況です。

理想とする子どもの数を阻害している理由として、「年齢的な問題」に続き「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が上位回答となっており、今後出生数を増やしていくためには、子育てにおける経済的負担の軽減や、子育て支援サービスのさらなる拡充が課題であると考えられます。

## ２．社会動態の課題

### （１）社会動態の状況

本町の社会動態は、転出が転入を上回る社会減が続いており、平成27～令和元年の５年間でみると、転入者数の平均44.6人／年に対し、転出者数は平均59.8人／年で、平均すると毎年25.2人の社会減となっています。

年齢階級別にみると、男女ともに20～24歳で大きく転出超過となっているだけでなく、Ｕターン等による24～34歳の転入超過が少ないことが社会減の大きな要因になっていると考えられます。

### （２）移住・定住対策における課題

本町に定住意向のない人は全体で約10%となっていますが、30歳未満ではその割合は高くなり、特に24～29歳では45%となっています。

本町に住み続けるために必要なことは、「買い物環境の充実」および「医療・福祉サービスの充実」が上位回答になっている状況です。

また、移住定住促進で力を入れるべきだと思う行政サービスとしては、「子育て世代への税制優遇や補助金」が最も多く、特に45歳未満の年代でその割合は高くなっており、出産・育児の課題と併せて対応が必要と考えられます。

### （３）雇用における課題

本町の基幹産業である農業は就業者数が減少傾向にあるとともに、高齢化の進展が懸念されます。

今後も農業による雇用力を維持していくためには、「食の安全」に対応した安心・安全で品質の高い農業への取組をさらに進めていくとともに、新規就農者支援や農業研修生の受け入れによる農業就業者対策や新たな農業への取組み、さらに６次産業化への取組が必要となってきます。

また、商工業においては、町内事業者の事業活動への支援を継続するだけでなく、雇用環境の多様化の観点から、起業・創業を希望する人を対象とした支援も必要であると考えられます。

## ３．人口減少対策の方向性

課題

**移住・定住の課題**

・冬期間の生活環境の不備

・移住・交流環境の不足

**雇用・産業の課題**

・農業就業者の減少

・町内雇用力の不足

**人口構造の課題**

・少子高齢化の進展

・転出超過とＵ・Ｉターン環境不足

**転出が転入を上回り、死亡が出生を上回る現状を少しでも好転させ、**

**北竜町の人口減少を抑制**

**ひまわりのように明るく　健康長寿のまち　北竜町**

・交流人口増加による生産性の向上

・雇用の安定化により結婚と子育ての望みを実現

・高齢者の住環境の整備

・農業の成長産業化と六次産業化の取組

・「ひまわり」を活かした新産業への取組

・北竜温泉経営改善による観光の競争力強化と雇用の創出

・冬期間の生活環境の改善

・移住体験施策による移住の促進

・民間による住宅建設への支援

・空家等リフォーム奨励

対策の方向性

**・ひまわりによる観光の競争力強化による交流人口の増加**

**・農業及び観光を主軸とした雇用拡大促進**

**・雇用安定化による婚姻促進と出産・子育てへの支援**

**・定住生活環境の整備及び移住・交流促進に向けた住環境の整備**

本町の強み

**・「ひまわりライス」を始め、安心・安全で品質の高い農産物**

**・「ひまわりのまち　北竜」のブランド力**

**・「ひまわりの里」「サンフラワーパーク北竜温泉」などの観光資源**

**・豊かな緑と清らかな水と肥沃な大地が織りなす自然**

**・住環境及び生活環境改善に向けた取組**

第３章　基本目標・横断的な目標と施策の体系

## １．基本目標・横断的な目標

### 基本目標１　魅力ある北竜町をつくるとともに、安定した雇用を創出する

基幹産業である農業の振興や、地域の優位性でもある豊かな自然と観光資源を活かした産業振興を図り、「賃金」や「やりがい」の側面から「魅力」ある地域を創出し、安定した雇用を確保します。

### 基本目標２　北竜町とのつながりを築き、北竜町への新しいひとの流れをつくる

広大な自然や豊かな食などの優れた地域資源を生かし、本町に目を向けつながる人や企業を増大させるとともに、定住施策を確保し、観光客や移住者の増加による新しいひとの流れを創出します。

### 基本目標３　結婚・出産・子育ての希望をかなえる

「結婚して子どもを産み育てたい」という希望をかなえるため、結婚・妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援を行い、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます。

### 基本目標４　ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

職業や年齢に関わらず、だれもが安全で安心して住み続けられるまちづくりを進めるとともに、異業種・異年齢交流により人や企業・団体、町の協働によるまちづくりを推進します。また、広域連携事業等を通じて、近隣市町との連携を深めていきます。

### 横断的な目標１　多様な人材の活躍を推進する

多様な人材が活躍できる環境作りを積極的に進めるとともに、誰もが居場所と役割の持ち活躍できる地域社会を目指します。

### 横断的な目標２　新しい時代の流れを力にする

地方におけるSociety5.0の実現に向けた技術（未来技術）の活用を強力に推進するとともに、持続可能な開発目標（SDGs）を原動力とした地方創生を推進します。

## ２．施策の体系

|  |
| --- |
| 横断的な目標２　　新 　し 　い 　時 　代 　の 　流 　れ 　を 　力 　に 　す 　る横断的な目標１　　多 　様 　な 　人 　材 　の 　活 　躍 　を 　推 　進 　す 　る |

|  |
| --- |
| 基本目標１　魅力ある北竜町をつくるとともに、安定した雇用を創出する |
|  |  |  |  |
|  |  |  | （１）農業の成長産業化 |
|  |  |  | （２）農業の六次産業化 |
|  |  |  | （３）観光の競争力強化 |
|  |  |  | （４）地元企業の支援 |
|  |  |  |  |
| 基本目標２　北竜町とのつながりを築き、北竜町への新しいひとの流れをつくる |
|  |  |  |  |
|  |  |  | （１）移住・定住の推進 |
|  |  |  | （２）観光の振興・地域ブランド化 |
|  |  |  |  |
| 基本目標３　結婚・出産・子育ての希望をかなえる |
|  |  |  |  |
|  |  |  | （１）若い世代の収入の安定 |
|  |  |  | （２）結婚・出産を継続支援 |
|  |  |  | （３）子育て支援の充実 |
|  |  |  |  |
| 基本目標４　ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる |
|  |  |  |  |
|  |  |  | （１）時代に合った地域づくり |
|  |  |  | （２）安心なくらしを守る |
|  |  |  | （３）公共施設・インフラ等の維持整備 |
|  |  |  | （４）地域と地域の連携 |

第４章　具体的な施策

## 基本目標１　魅力ある北竜町をつくるとともに、安定した雇用を創出する

|  |
| --- |
| 数値目標 |
| 指　標 | 基準値 | 数値目標 |
| 農業生産法人数 | １３法人（R1年度末） | １５法人（R6年度末） |
| 起業・創業者数 | 2件（H27～R1年度実績） | 3件（R2～6年度累計） |
| 基本的方向 |
| ○農業を基盤とした創業・起業の喚起を促し、促進支援を行うことにより所得の向上と新たな雇用の創出を図ります。○農産品を中心とした六次産業化を推進するとともに、ひまわり油を活用した地域の創造に取り組みます。○サンフラワーパーク北竜温泉やひまわりの里の充実を図り、観光における競争力強化による雇用創出に取り組みます。○地元企業を対象とした助成事業を継続・充実し、町内各種産業の振興を図ります。 |

### （１）農業の成長産業化

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| KPI（重要業績評価指標） | 基準値 | 数値目標 |
| 農業体験実習生の受入 | １０人（H27～R1年度実績） | １５人（R2～6年度累計） |
| 事業内容 |
| 新規就農に向けて人材育成環境を整備します |
| ○農業体験実習生受入事業○新規就農受入事業●農業体験宿泊施設整備●農業体験研修事業の実施 | 産業課 |
| 農業の競争力強化に向けて基盤の強化を図ります |
| ○「ひまわりライス」生産事業○メロンすいかハウス生産事業○黒千石大豆作付奨励金○中山間地域直接支払制度○多目的機能支払制度○北竜町農産物販路拡大 | 産業課 |

### （２）農業の六次産業化

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| KPI（重要業績評価指標） | 基準値 | 数値目標 |
| ひまわり作付面積 | ５６．９３ｈａ（令和1年度実績） | ７0ｈａ（令和6年度） |
| 事業内容 |
| 地域資源を活かした六次産業化を促進します |
| ○ひまわり油推進事業●農業農村創業支援 | 企画振興課産業課 |
| ○ひまわりナッツ生産事業○食農工房パルム整備事業○地域特産品開発支援事業○農畜産物直売所みのりっち北竜の充実○北竜町農産物販路拡大(再掲)●農業体験研修事業の実施(再掲) | 産業課 |

### （３）観光の競争力強化

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| KPI（重要業績評価指標） | 基準値 | 数値目標 |
| サンフラワーパーク北竜温泉売上実績 | ２０９，０５９千円（令和1年度実績） | ２５０，０００千円（令和6年度） |
| 事業内容 |
| サンフラワーパーク北竜温泉の経営改善を図ります |
| ○サンフラワーパーク北竜温泉経営改善計画策定 | 企画振興課 |
| 観光資源の景観整備と外国人受け入れ対応を推進します |
| ●ひまわりの里整備事業○観光のインターナショナル事業 | 産業課 |

### （４）地元企業の支援

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| KPI（重要業績評価指標） | 基準値 | 数値目標 |
| 助成事業の利用件数 | ２４件（H27～R1年度実績） | ３０件（R2～6年度累計） |
| 事業内容 |
| 地元企業の事業の活性化を支援し雇用創出を図ります |
| ○店舗新築等整備助成事業○機器等設備整備助成事業○新規開業等運転資金助成事業○中小企業保証融資利子補給等○雇用創出助成事業○若年者雇用定着助成事業 | 産業課 |
| 地域に密着した雇用の促進を図ります |
| ○地域づくり人材育成事業 | 企画振興課 |
| ○介護基盤（グループホーム）整備事業○地域支え合いセンター支援事業 | 住民課地域包括支援センター |

## 基本目標２　北竜町とのつながりを築き、北竜町への新しいひとの流れをつくる

|  |
| --- |
| 数値目標 |
| 指　標 | 基準値 | 数値目標 |
| 観光客入込数（延べ人数） | ４３５．４千人（R1年度実績） | ５００．０千人（R6年度） |
| 観光宿泊者数（延べ人数） | ５．５千人（R1年度実績） | ８．０千人（R6年度） |
| 基本的方向 |
| ○観光資源の再構築により関係人口の拡大を図ります。○定住・移住施策を行い、転出者の抑制と転入者の増員により定率化を図ります。○サンフラワーパーク北竜温泉の経営改善を図ります。 |

### （１）移住・定住の推進

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| KPI（重要業績評価指標） | 基準値 | 数値目標 |
| 転入者数 | ２２３人（H27～R1年実績） | ２５０人（R2～6年累計） |
| 地域おこし協力隊員の受入れ | ４人（H27～R1年度実績） | ５人（R2～6年度累計） |
| 事業内容 |
| 移住受入れ対策を強化します |
| ○地域おこし協力隊員の募集○集落支援員の募集●お試し移住体験の募集●お試し移住体験受け入れ施設整備●分譲地の造成○宅地取得奨励事業○持ち家取得奨励事業○民間賃貸住宅建設促進事業○空家等リフォーム奨励事業○子育て世帯町外通勤者助成事業○町外勤務者移住助成事業 | 企画振興課 |
| ○農業体験実習生受入事業(再掲)○新規就農受入事業(再掲)●農業体験宿泊施設整備(再掲)●農業体験研修事業の実施(再掲) | 産業課 |

### （２）観光の振興・地域ブランド化

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| KPI（重要業績評価指標） | 基準値 | 数値目標 |
| ふるさと納税申込み件数 | ３９，５００件（R1年度） | ４０，０００件（R6年度） |
| 事業内容 |
| 観光の競争力の強化を図ります |
| ○サンフラワーパーク北竜温泉経営改善計画策定(再掲)○十色(といろ)の風景事業○ふるさと納税事業 | 企画振興課 |
| ○ひまわり観光支援事業○観光強化に向けた調査研究●ひまわりの里整備事業(再掲) | 産業課 |
| 外国人観光客数の増員を図ります |
| ●ひまわりの里整備事業(再掲)○観光のインターナショナル事業(再掲) | 産業課 |

## 基本目標３　結婚・出産・子育ての希望をかなえる

|  |
| --- |
| 数値目標 |
| 指　標 | 基準値 | 数値目標 |
| 婚姻数 | ２９組（H27～R1年実績） | ２５組（R2～6年累計） |
| 出生数 | ５２人（H27～R1年実績） | ５０人（R2～6年累計） |
| 基本的方向 |
| ○新規就農や雇用促進事業等を通じて若い世代の雇用の安定を目指します。○結婚から出産及び乳幼児への支援を推進します。○仕事と生活の調和を図るため、子育てにおける様々な段階での支援を推進します。 |

### （１）若い世代の収入の安定

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| KPI（重要業績評価指標） | 基準値 | 数値目標 |
| 若年者雇用定着助成事業の利用者数 | ０人（R1年度実績） | ３人（R2～6年累計） |
| 事業内容 |
| 若者の雇用の対策を図ります。 |
| ○地域づくり人材育成事業(再掲) | 企画振興課 |
| ○雇用創出助成事業(再掲)○若年者雇用定着助成事業(再掲)○農業体験実習生受け入れ事業(再掲)○新規就農受入事業(再掲)○ひまわりナッツ生産事業(再掲)○食農工房パルム整備事業(再掲)○農畜産物直売所みのりっち北竜管理業務(再掲) | 産業課 |
| ○ひまわり油推進事業(再掲)●農業農村創業支援(再掲) | 産業課企画振興課 |

### （２）結婚・出産を継続支援

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| KPI（重要業績評価指標） | 基準値 | 数値目標 |
| 結婚祝金支給件数 | ２６件（H27～R1年度実績） | ２５件（R2～6年度実績） |
| 出産祝金支給件数 | ４８件（H27～R1年度実績） | ５０件（R2～6年度実績） |
| 事業内容 |
| 結婚・出産を支援します |
| ○結婚新生活支援事業 | 企画振興課 |
| ○農業後継者対策推進事業○商工業後継者対策推進事業●結婚支援対策調査事業 | 産業課 |
| ○結婚祝金支給事業○特定不妊治療費助成○一般不妊治療助成○妊婦健康診査業務○妊婦歯科診査業務○妊婦健診交通費助成○出産祝金支給事業○乳幼児健康診査業務○乳児歯科検診・フッ素塗布事業○乳幼児等医療費助成事業○乳幼児栄養強化食品費助成○産後ケア・育児サポート事業○任意予防接種費助成 | 住民課地域包括支援センター |

### （３）子育て支援の充実

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| KPI（重要業績評価指標） | 基準値 | 数値目標 |
| 保育園利用率(入園対象児童数に占める保育園利用者の割合) | ５７．１％（R1年4月現在） | ８０．０％（R6年4月） |
| 高校生医療費助成事業の利用件数 | １，２３９件（H27～R1年度累計） | １，５００件（R2～6年度累計） |
| 事業内容 |
| 子育て支援を充実させ仕事と生活の両立を支援します |
| ○高等学校等通学等助成金○子育て世帯町外通勤者助成事業(再掲)○町外勤務者移住助成事業(再掲) | 企画振興課 |
| ○保育園保育料減免○保育園広域児童入所支援事業○地域子育て支援センター運営業務○放課後児童対策事業○学童保育料減免○ひとり親対策支援事業○高校生医療費助成事業 | 住民課 |
| ○入学祝い金支給事業○給食費助成○修学旅行費助成○奨学資金貸付事業 | 教育委員会 |

## 基本目標４　ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

|  |
| --- |
| 数値目標 |
| 指　標 | 基準値 | 数値目標 |
| 転出者数 | ２９９人（H27～R1年実績） | ３００人（R2～6年実績） |
| 広域による連携事業 | ２７事業（R1年度末） | ２９事業（R6年度末） |
| 基本的方向 |
| ○定住政策として住宅環境の整備を図ります。○医療・買い物等利便性の高い市街地への居住地の移動を図ります。○空家空地対策計画により快適な生活空間の確立を推進します。○冬期間の快適な生活環境を創造します。○安全で安心な暮らしの推進に当たっては、近隣市町や北海道との連携を図ります。 |

### （１）時代に合った地域づくり

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| KPI（重要業績評価指標） | 基準値 | 数値目標 |
| 要支援・要介護認定者数 | １３５人（R1年度末） | ２００人（R6年度末） |
| 行政ポイント発行ポイント数 | 94,000ﾎﾟｲﾝﾄ（R1年度末） | 100,000ﾎﾟｲﾝﾄ（R6年度末） |
| 事業内容 |
| 時代に合った地域の形成を支援します |
| ○地域公共交通運行事業 | 企画振興課 |
| ○行政ポイント制度事業 | 産業課 |
| ○住宅用太陽光発電助成事業 | 建設課 |
| ○外国語指導助手派遣事業業務○公設学習塾の開設○短期語学留学助成事業○夢の教室開催支援事業 | 教育委員会 |

|  |
| --- |
| 高齢者の生活を支援します |
| ○認知症対策の推進○訪問介護員支援事業○生活支援・生きがい対策事業○介護予防支援事業○福祉灯油等助成事業○福祉除雪サービス助成事業○高齢者運転免許返納サポート事業○介護基盤（グループホーム）整備事業(再掲)○地域支え合いセンター支援事業(再掲)○高齢者事業団シルバー人材センター支援事業○人にやさしい住環境整備支援事業 | 住民課地域包括支援センター |

### （２）安心なくらしを守る

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| KPI（重要業績評価指標） | 基準値 | 数値目標 |
| 特定空家件数 | １件（R1年度実績） | 1件（R6年度） |
| 事業内容 |
| 地域医療を確保・継続します |
| ○町立診療所整備○町立歯科診療所整備 | 住民課 |
| 防災・減災を推進します |
| ○自主防災組織への支援○ハザードマップ作成業務○避難所備蓄品整備事業●固定系防災行政無線の更新(デジタル化) | 総務課 |
| ○空家空地対策協議会の設立○空家空地対策計画の策定 | 企画振興課 |
| ○緊急通報システム管理業務○ひまわり街灯管理業務○防犯カメラ整備事業○詐欺被害防止機器購入事業○LED灯光器設置 | 住民課 |

### （３）公共施設・インフラ等の維持・整備

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指標 | 基準値 | KPI(重要業績評価指標) |
| 公共施設改修件数 | ２２件（R1年） | ２２件（R6年） |
| 事業内容 |
| 公共施設及びインフラ等の整備・修繕を推進します |
| ○公共施設等総合管理計画の改訂・個別施設計画の策定　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 | 総務課 |
| ○農畜産物直売所みのりっち北竜管理業務(再掲) | 産業課 |
| ○介護基盤（グループホーム）整備事業(再掲)○町立診療所整備(再掲)○町立歯科診療所整備(再掲) | 住民課地域包括支援センター |
| ○公営住宅の整備・長寿命化○道路の整備○河川の維持・整備○橋梁の整備・長寿命化○水道施設の更新 | 建設課 |

### （４）地域と地域の連携

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| KPI（重要業績評価指標） | 基準値 | 数値目標 |
| 北空知圏連携事業 | ２３件（R1年度末実績） | ２５件（R6年度末） |
| 事業内容 |
| 地域内の連携を図ります |
| ○地域自治の推進 | 総務課 |
| ○コミュニティ施設整備○地域づくり人材育成助成事業(再掲) | 企画振興課 |
| ○中山間地域直接支払制度(再掲)○多目的機能支払制度(再掲) | 産業課 |
| ○学校運営協議会（CS） | 教育委員会 |
| 広域的連携を図ります |
| ○北空知定住自立圏共生ビジョンの推進○近隣市町との広域連携○北海道との連携 | 企画振興課 |
| ○広域観光連携 | 産業課 |
| ○地場産農産物開発及びその加工品の学校給食等への利活用と事業化・販売促進のための広域連携事業 | 企画振興課教育委員会 |

北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成27年10月発行

平成28年　4月改訂

令和　2年　3月改訂

発行：北海道北竜町

編集：北竜町役場　企画振興課

〒078-2512　北海道雨竜郡北竜町字和11番地1

ＴＥＬ　0164-34-2111（代表）

ＦＡＸ　0164-34-2117

http://www.town.hokuryu.hokkaido.jp/